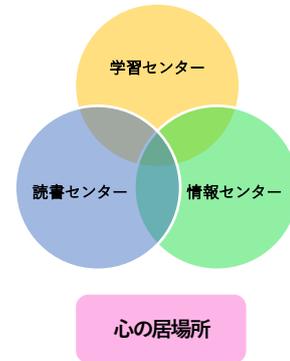




図書館が取り組んでいるこんなこと

学校図書館は以下の3つ(+1つ)の機能を備えています。

- ①読書センター…読書活動の拠点となること
- ②学習センター…授業に役立つ資料を備え学習支援を行うこと
- ③情報センター…情報活用能力を育むこと
- ④心の居場所



最近の図書館の活動をそれぞれの機能の面から紹介します。

①読書センターとしての活動

昨年度から「朝読書+(プラス)」という取り組みを始めています。各クラスが年に2回、図書館で朝読書の時間を過ごします。自発的には図書館を利用しない生徒も多くいます。そんな生徒たちにとっては、本を選ぶ貴重な機会となっています。

②学習センターとしての活動

7月3日(木)に小川仁志さん(山口大学国際総合科学部教授)を講師にお迎えする全校人権学習研修会が予定されています。様々なメディアで活躍されている小川さんですが、多くの著書があります。本校の蔵書だけでは足りないため、鳥取県立図書館からも本を取り寄せ、「小川仁志さんの本」コーナーを作っています。事前に小川さんの著書を読んでおけば、わくわくした気持ちで講演会を迎えられるでしょう。



③情報センターとしての活動

昨年度の活動ですが、秋にあった衆議院議員選挙の際、選挙に関する本などを集めた展示をしました。展示を見た生徒の中には「リベラルってどういうことだっけ？」とスマホを開いて調べ出す生徒もいました。「知りたい気持ちに火をつける」作戦、成功です。

④心の居場所としての活動

図書館は決して本が好きなお客のためだけにあるわけではありません。最近の公共図書館界隈では「図書館は屋根のある広場である」ということが言われています。本が好きではない人にとっても居心地がよいように。米工図書館では今年度から積極的にボードゲームの収集、提供を始めています。説明書を真剣に読んで知らないゲームにチャレンジしたり、友だち同士で教え合いながらゲームを楽しむ生徒の姿を見かけます。

